

# Biodiversity

# 生物多様性

# EXP 2010

地球のいのち、つないでいこう

わたしたちの暮らしと生物多様性

2010年 **2月26日** 金 → **28日** 日

会場 **マリンメッセ福岡** | 入場無料

2010年 **3月20日** 土 **21日** 日

会場 **グランキューブ大阪** | 入場無料

<http://biodiv-expo.jp>



## 出展のご案内

主催：環境省

## 開催趣旨

来年は、国連が定める『国際生物多様性年』であるとともに、生物多様性条約の『2010年目標の年』でもあるなど、生物多様性にとって大変重要な節目の年です。そして、来年10月には、生物多様性条約第10回締約国会議(COP10)が愛知県名古屋市で開催されることが決定しています。この会議は世界各地から約1万人が参加するもので、今世紀に入って国内で開催される最大規模の国際会議です。COP10では、生物多様性への事業者の取り組みについても活発に議論されると予測され、開催国及び議長国である日本には、国際的なイニシアティブの発揮が求められています。

COP10を目前に、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する事業者の役割について世界の関心が高まる中、国内では生物多様性についての認識が十分浸透しているとはいえません。地球環境問題と密接に関連しあいながらも、環境問題の中でも難しく捉えられ、理解が進んでいないのが現状です。事業者の取り組みも、現状では未だ一部の先進企業にとどまり、国内の取り組みは、まだこれからの段階です。

生物多様性がもたらす様々な恩恵は、すべての生物の生存基盤であり、私たちの暮らしにとってなくてはならないものです。従って、生物多様性の保全及び持続可能な利用に関する普及啓発と民間参画の取り組みが急務であり、企業だけでなく、地方公共団体、NPO、そして全ての生活者の参画が望まれるとともに、今後より継続的に活動を推進し、活性化していくことが求められています。このような現状の中、今回、福岡・大阪において、生物多様性をテーマとした初の総合的な展示会「生物多様性 EXPO 2010」を開催する運びとなりました。

生物多様性に配慮した事業や研究に取り組む事業者やエコツーリズム等を通じて地域活性化を図る団体、さらには一般消費者が集い、これら関係団体の取り組みとその重要性の周知を加速するとともに、先進企業の取り組みを参考に、新たなビジネスチャンスとして捉えていただく場として、初の試みとなります。

景気低迷の折、様々な事業者が集うことで、新たな事業開拓の可能性と雇用の創出、一次産業の付加価値の発掘など、地域活性化を図ることも目的としています。これに先立ち、2009年10月～12月の期間、仙台、名古屋、東京地区における環境関連の展示会などに、生物多様性ブースの出展を展開して参ります。

今後、国際社会に発表された温室効果ガス削減目標の実現、地球温暖化対策とあわせて、世界的に注目度の高い「生物多様性」に対する数々の取り組みの活性化に向け、初の総合展示会となる本事業に、ぜひご参加とご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

## 生物多様性総合展示会 全体像

エコ関連イベントへの出展と総合展示会を開催。これらにより、先進企業等の製品・サービス及び取り組み状況を一般消費者へPRすることで、生物多様性に配慮した事業活動の促進、生物多様性の浸透を図ります。合わせて、企業間同士の情報交換の場を提供することにより、新たなビジネスチャンスの創出を推進します。

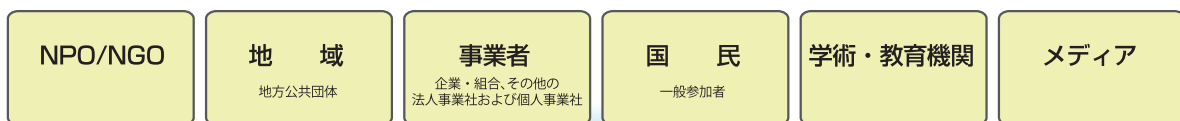


生物多様性に配慮した事業活動を行っている事業者と  
地域活性化を図る団体、さらには一般消費者が集い  
情報交流、連携、地域と一体となった事業活動の活性化を図る

- 先進的な取り組みをしている企業等を中心に、生物多様性に配慮した取り組みを加速するとともに、先進企業の事例を参考にビジネスチャンスとして捉え、雇用機会の創出、一次産業の付加価値の発掘などで、地域活性化を図る。
- 関連ステークホルダーが一堂に会し、情報交換 + 連携において新たな地域活性化とマーケット創出への期待感を内外に発信。

本事業を通じて、生物多様性を訴求する中で  
『生物多様性に配慮した商品・サービスのマーケットが  
これから創造、拡大されていくこと』を理解・実感いただける契機とする

事業者だけでなく、全てのステークホルダーが一堂に会し、  
生物多様性の重要性に気づき行動するきっかけを提案する



認 知

知る

理 解

わかる

行 動

行動する

認知→理解→行動のフローをブースおよび展示会場において具体的に伝達し、実感・行動につなげる。  
生物多様性の保全とその持続可能な利用が「なぜ重要か？」  
そして、「具体的に私たちが何をすればよいのか？」について訴求していく。

コミュニケーションワードロゴや、啓発シンボルとしての「地球いきもの応援団」などの露出と連動しながら、地元の有識者や協力団体の参画による、メディアと連動した複合的な露出、発信を展開。

必要性・重要性をわかりやすくするための可視化・立体化したイベントコンテンツの開発。  
地元各団体の具体的な取り組みを知ることによる理解促進。

事業者には民間参画ガイドラインと地元の先進企業の取り組み事例を立体化し訴求する。  
ステークホルダーには体験の場を提供し、国民の行動リストなどをきっかけに行動イメージを伝達。



## 開催概要

### 福岡会場

名称	生物多様性 EXPO 2010 in 福岡 ～地球のいのち、つないでいこう～
開催日時	平成 22 年 2 月 26 日(金)～ 28 日(日) 10:00～17:00 (設営: 24 日/ 撤去: 28 日)
会場	マリンメッセ福岡 〒812-0031 福岡市博多区沖浜町 7-1 展示会場: 1F 多目的展示室
出展小間数	約 200 小間(約 200 法人、団体、自治体)
主催	環境省

### 大阪会場

名称	生物多様性 EXPO 2010 in 大阪 ～地球のいのち、つないでいこう～
開催日時	平成 22 年 3 月 20 日(土)～ 21 日(日) 10:00～17:00 (設営: 19 日/ 撤去: 21 日)
会場	大阪国際会議場(グランキューブ大阪) 〒530-0005 大阪市北区中之島 5-3-51 展示会場: 3F イベントホール、 セミナー会場: 12F 1202 会議室
出展小間数	約 170 小間(約 170 法人、団体、自治体)
主催	環境省

## イベント構成

### ブース出展

#### ◎主催者展示(テーマゾーン)と企業のブース出展に大きく会場を分類

来場者にはテーマゾーンで生物多様性を正しく理解し、知識を深め、各企業出展ブースへと足を運んでいただきます。

#### ◎テーマゾーンを会場中央に配置し、生物多様性を多角的に訴求

テーマゾーンは、ジオラマを中心とした「知るゾーン」、映像シアターやワークショップを有した「わかるゾーン」、生物多様性への取り組みに向けてのきっかけをつくる「行動する」ゾーンの 3 つの要素で空間を構成します。

### 主催者展示

### ステージ プログラム

#### ◎地球いきもの応援団トークショーの開催

#### ◎基調講演/有識者による生物多様性に関する講演

#### ◎有識者・先進的に取り組んでいる企業と地球いきもの応援団によるパネルディスカッション

### 事業者向け セミナー

#### ◎事業者向けセミナー

#### ～生物多様性民間参画ガイドライン説明会+企業による事例セミナー

生物多様性民間参画ガイドラインの要旨解説と、今後事業者がどのように生物多様性に取り組むべきかをセミナー形式で伝達。